

「気候変動とコロナ禍の食料需給への影響ワークショップ運営等業務」仕様書

国際農林水産業研究センター（国際農研）と科研費基盤 B「将来の気候変動が世界各国・地域別のフードセキュリティに与える影響分析(CCFS)」のメンバーが CCFS 研究会を結成し、作物モデル、世界食料モデル、各国の農産物需給モデル開発を通じて気候変動がフードセキュリティに与える影響を分析してきた。その成果を国内の関心のある方に広く周知するために、「気候変動とコロナ禍の食料需給への影響-不確実性下のフードセキュリティ-」と題するワークショップを開催する。

ワークショップの対象は、気候変動やコロナ禍の食料市場に与える影響に興味のある一般の方とし、ライブ映像配信を行う。

1. 適用範囲

この仕様書は、CCFS 研究会が開催する「気候変動とコロナ禍の食料需給への影響ワークショップ」の運営等業務に関する仕様を示すものである。

2. 件名

「気候変動とコロナ禍の食料需給への影響ワークショップ」運営等業務

3. 開催日時

令和 3 年 12 月 17 日（金）（11:00～16:00）

4. 業務期間

契約締結日より令和 3 年 12 月 28 日（火）まで

5. 開催場所

オンライン開催とし、登壇者は各自の席（研究室・自宅等）より参加する。なお、特別講演を行う David Dawe 氏のみバンコクより参加予定。

請負者が配信拠点の手配を行い、場所の借り上げが必要な場合は費用を明細に含めるものとする。

6. プログラム概要

プログラムの概要は、開催挨拶、特別講演、研究紹介 6 件、パネルディスカッション、閉会挨拶である。詳細は資料 1 参照。

7. 事務局

CCFS 研究会「気候変動とコロナ禍の食料需給への影響ワークショップ事務局」

8. 業務内容

- ① ワークショップ案内のチラシ（サーキュラー）を作成すること。日本語で作成し、「資料 1」のプログラム案を掲載した 3 案以上のデザインを作製し、最終案を PDF ファイルで提出すること。また、下記仕様にて 200 部印刷すること。提出期限は、別途事務局から指示する。
 - ・仕上がり寸法：A4 版
 - ・用紙規格：マット紙 90kg
(類似品可、グリーン購入法に適合した用紙を使用すること)
 - ・印刷方法：オフセット印刷もしくはオンデマンド印刷（安価な方を選択すること）
- ② 進行台本を作成し、12 月 14 日（火）までに提出すること。
- ③ ワークショップ開催前日の 12 月 16 日（木）15:00～17:00 に、海外との接続を含めたりハーサルを実施すること。
- ④ ワークショップの模様について、国内参加者に向けて Web 会議システムを利用したライブ映像配信を行うこと。合計で 500 名が視聴できるようにすること。参加申込みをしていない者は、入室できないよう制限すること。視聴者は、勝手に音声や映像を流すことができないようにすること。
- ⑤ ライブ配信に必要な映像と音声の機材を用意するとともに、操作等を行う人員を確保すること。また、各機材間の映像とプレゼンテーション画面の切り替え（ビデオを含む）を適宜行うことができる人員を配置すること。さらに、音声の収集、録音を行うこと。
- ⑥ ライブ配信する映像には、講演タイトルと講演者の氏名を、和文のテロップとして流すこと。
- ⑦ 全体の運営を把握し、業務を管理するディレクタ（責任者）を配置すること。運営に当たっては、インカムなどを使用し、スタッフと連絡を取りながら円滑に行うこと。
- ⑧ 音響については、ワークショップの進行に支障が生じないよう必要な手続きを取り、操作を行うこと。
- ⑨ ライブ配信用のパソコンを用意するとともに、関係する機器の操作を行うこと。講演用プレゼンテーションデータ（PPT もしくは PPTX ファイル）は、事前にバックアップをとるなど、アクシデントに対応できるよう対処すること。
- ⑩ 特別講演を行う David Dawe 氏の発表が、聴衆に分かるように、和訳への同時通訳を行うこと。また、Dawe 氏がワークショップの内容が分かるように、他者の発表の英訳を同時通訳で行うこと。なお、氏の報告資料は、国際農研が事前に和訳を行うため、資料についてのテロップは不要。
 - ・当日は、講演者と段取り等について事前打合せを行うこと。
 - ・通訳者は、同時通訳・A ランク以上の者とする。
- ⑪ ライブ配信した映像を解像度 720p 以上で録画し、ワークショップ終了後一両日中に MP4 ファイルですみやかに提出するとともに、後日、ホームページ上で動画配信するための映像として、休憩時間等の不要な部分を削除するほか、音声や映像の調整を実施

した上で、ワークショップ終了後12月28日(火)までにMP4ファイルで提出すること。
また、オリジナルのデータも併せて提出すること。なお、映像の著作権は、国際農研に帰属するものとする。

9. その他

- ① ワークショップの準備に必要な期間は、事務局と協議し十分に確保すること。
- ② ワークショップの司会は、国際農研が行う。
- ③ 参加申込みは、国際農研がホームページ上で行う。
- ④ 請負者は、事務局の担当者と連絡を取り合い、業務を行うこと。
- ⑤ プライバシーマーク登録証の写しを提出すること。
- ⑥ 連絡窓口（担当者）を明記した本契約を実施するための実施体制図を提出すること。
- ⑦ 国際農研からの求めがあった場合、請負者の資本関係・役員等の情報、請負業務の実施場所に関する情報、請負業務従事者の所属・専門性（情報セキュリティに係る資格・研修実績等）・実績及び国籍に関する情報を提供すること。
- ⑧ 本業務に関し情報セキュリティインシデント又はその恐れが生じた場合には、直ちに国際農研に報告すること。
- ⑨ 請負者の情報セキュリティ対策の履行が不十分である場合、改善についての協議を行い、合意した改善策を実施させる場合がある。

10. 打ち合わせ

円滑に業務を遂行するため、業務受注後、開催前の2回程度、事務局と打ち合わせを行い、詳細を十分確認すること。打ち合わせはオンラインを想定しているが、国際農研に来所を依頼する可能性もある。

11. 定めなき事項

この仕様書に定めのない事項又は、この業務の遂行に当たり疑義を生じた場合は、事務局と協議すること。

また、新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、仕様内容を変更する場合がある。

12. 情報の取扱いについて

本業務遂行上知り得た情報については、その全てを厳重に管理し、業務終了後は、受注者が責任を持って適切に処分し、その旨書面にて提出し、承認を得ること。

また、いかなる情報も本業務の遂行以外の目的には一切使用しないこと。

以上

資料 1

CCFS 研究会ワークショップ

「気候変動とコロナ禍の食料需給への影響—不確実性下のフードセキュリティ—」

プログラム案

2021 年 12 月 17 日

11:00 ~	会場受付
11:30 ~ 11:50	開会挨拶 ：食料需給分析の過去・現在・未来 小山 修（国立研究開発法人国際農林水産業研究センター）
11:55 ~ 12:25	特別講演 ：コロナ禍がアジア地域の食料・栄養バランスに与える影響 David Dawe（国連食糧農業機関(FAO)アジア太平洋地域事務所）
12:30 ~ 12:50	セッション 1：気候変動への適応 （座長：古家淳） 世界の穀物生産における気候変動適応コスト 飯泉 仁之直（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）
12:55 ~ 13:15	気候変動研究における時系列分析 中谷 朋昭（東京大学大学院農学生命科学研究科）
13:20 ~ 13:40	食料供給安定性の要因分解分析 澤内 大輔（北海道大学大学院農学研究院）
13:40 ~ 13:55	休憩
13:55 ~ 14:15	セッション 2：気候変動とコロナ禍の影響 （座長：中谷朋昭） 栄養に向かうフードセキュリティ概念と世界食料需給モデルの射程 草野 栄一（国立研究開発法人国際農林水産業研究センター）
14:20 ~ 14:40	コロナ禍が世界各国の食料・栄養供給に与える影響 古家 淳（国立研究開発法人国際農林水産業研究センター）
14:45 ~ 15:05	気候変動のインディカ及びジャポニカ米市場への影響 小泉 達治（経済協力開発機構(OECD)） 古橋 元（農林水産省農林水産政策研究所）
15:05 ~ 15:20	休憩
15:20 ~ 15:50	セッション 3：パネルディスカッション （座長：飯山みゆき）
15:50 ~ 16:00	閉会挨拶 長谷川 利拡（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境研究部門 気候変動適応策研究領域 作物影響評価・適応 グループ長）

Workshop of CCFS Society
**“Effects of Climate Change and Spreading COVID-19 on Supply
and Demand of Food: Food security under the uncertainty”**

A draft of the program

17th December 2021

1st row: Japan time

2nd row: Thailand time (**:**)

3rd row: France time [**:**]

11:00 ~ (9:00)	Reception
11:30 ~ 11:50 (9:30) (9:50)	Opening Remarks : Food supply and demand analysis - past, current, and future Osamu Koyama (JIRCAS)
11:55 ~ 12:25 (9:55) (10:25)	Keynote Speech : Impact of COVID-19 on food security and nutrition in Asia David Dawe (FAO Regional Office for Asia and Pacific)
12:30 ~ 12:50 (10:30) (10:50)	Session 1: Adaptation to Climate Change (Chairman: Jun Furuya) Climate change adaptation cost to global production Toshichika Iizumi (NARO)
12:55 ~ 13:15 (10:55) (11:15)	Timeseries econometrics for climate change research Tomoaki Nakatani (The University of Tokyo)
13:20 ~ 13:40 (11:20) (11:40)	Decomposition of stable food availability Daisuke Sawauchi (Hokkaido University)
13:40 ~ 13:55 (11:40) (11:55)	Break
13:55 ~ 14:15 (11:55) (12:15)	Session 2: Effects of COVID-19 and Climate Change (Chairman: Tomoaki Nakatani) The scope of global food projection models in the food security concept shifting emphasis on nutrition Eiichi Kusano (JIRCAS)
14:20 ~ 14:40 (12:20) (12:40)	Effects of COVID-19 on supply of food and nutrition in the world Jun Furuya (JIRCAS)
14:45 ~ 15:05 (12:45) (13:05)	Effects of climate change on global indica and japonica rice markets Tatsuji Koizumi (OECD)
[6:45] [7:05]	Gen Furuhashi (Policy Research Institute, MAFF)
15:05 ~ 15:20 (13:05) (13:20)	Break
[7:05] [7:20]	
15:20 ~ 15:50 (13:20) (13:50)	Session 3: Panel discussion (Chairman: Miyuki Iiyama)
[7:20] [7:50]	
15:50 ~ 16:00 (13:50) (14:00)	Closing remarks: Toshihiro Hasegawa (NARO)
[7:50] [8:00]	